

使用材料例

分類	材料名称	使用目的	外観性状	荷姿
防水材	アロンコート® SX	下塗り防水材	アクリルゴム粘糊スラリー (ブルー、N8.5 近似)	18kg/ 缶
	アロンコート® ST [JIS A6021]	防水材・模様材	アクリルゴム粘糊スラリー (クリーム色)	18kg/ 缶
消泡剤	アロンウオール® STM 工法用 添加剤	ST の消泡と表面乾燥抑制	消泡剤と乾燥遅延剤の水性混合溶液 (放置により 2 層分離)	1000ml/PE 容器、3 本 / 箱
仕上塗料 (トップコート)	アロン HS カラー Si-1000	化粧、防水層の保護・汚染防止	低汚染タイプ 水性アクリルシリコン樹脂塗料	15kg/ 缶
	*アロン HS カラー Si-3000	化粧、防水層の保護・汚染防止	低汚染タイプ 2 液反応硬化形弱溶剤系 アクリルシリコン樹脂塗料 主剤・硬化剤：消・危 4-2	主 剤：14kg/ 缶 硬化剤：2kg/ 缶 16kg/ セット
	*アロン HS カラー Si-3000 用 シンナー	Si-3000 の希釈	無色透明な有機溶剤 消・危 4-2	13kg/ 缶
	アロン水性スーパーカラー Si	化粧、防水層の保護・汚染防止	低汚染タイプ 水性アクリルシリコン樹脂塗料	15kg/ 缶
	アロン水性 (DX) スーパーカラー	化粧、防水層の保護・汚染防止	水性アクリルウレタン樹脂塗料	16kg/ 缶、4kg/ 缶
	アロン水性カラー	化粧、防水層の保護・汚染防止	水性アクリル樹脂塗料	16kg/ 缶
	*アロン MD カラー U	化粧、防水層の保護・汚染防止	低汚染タイプ 2 液反応硬化形弱溶剤系 アクリルウレタン樹脂塗料 主剤・硬化剤：消・危 4-2	主 剤：12kg/ 缶 14kg/ セット 硬化剤：2kg/ 缶 (3.5kg/ セット)
	*アロン MD カラー U 用 シンナー	MD カラー U の希釈	無色透明な有機溶剤 消・危 4-2	12.8kg/ 缶、3.2kg/ 缶
	*アロン MD カラー Si	化粧、防水層の保護・汚染防止	低汚染タイプ 2 液反応硬化形弱溶剤系 アクリルシリコン樹脂塗料 主剤・硬化剤：消・危 4-2	主 剤：12kg/ 缶 15kg/ セット 硬化剤：3kg/ 缶 (5kg/ セット)
	*アロン MD カラー Si 用 シンナー	MD カラー Si の希釈	無色透明な有機溶剤 消・危 4-2	13kg/ 缶、3kg/ 缶
プライマー	アロン水性プライマー	接着性向上	2 液反応硬化形水系エポキシ樹脂 エマルジョン	主 剤：6kg/ 缶 硬化剤：6kg/ 缶
	*アロン強化プライマー	含浸強化と接着性向上	特殊変性 2 液反応硬化形エポキシ樹脂 有機溶剤溶液 主剤：消・危 4-2 硬化剤：消・危 4-1	主 剤：8.2kg/ 缶 硬化剤：6.8kg/ 缶 15kg/ セット
	*アロン MD 防錆プライマー	鉄部の防錆と接着性向上	2 液反応硬化形弱溶剤系エポキシ樹脂 主剤：消・危 4-2 硬化剤：消・危 4-2	主 剤：16kg/ 缶 硬化剤：2kg/ 缶 18kg/ セット
	*アロン MD 防錆プライマー 用シンナー	MD 防錆プライマーの希釈	石油系炭化水素と芳香族系有機溶剤 S、A：消・危 4-2	4L/ 缶、16L/ 缶
下地挙動 緩衝材	アロンウオール® SH	ひび割れ部での追従性向上	アクリルゴムエマルジョン粘糊スラリー	18kg/ 缶
下地 修正材	アロンカチオクリート® ベース	下地修正	乳白色カチオン性アクリル樹脂 エマルジョン	16kg/ 缶
	アロンカチオクリート® フィラー F-0、F-1、F-2、F-3	下地修正用フィラー	水硬性灰白色粉体	20kg/ 袋
	アロンカチオクリート® フィラー F-F、F-K	断面修復	水硬性灰白色粉体	15kg/ 袋

※有機溶剤系

* 1) 仕上塗料 (トップコート) は、上記以外に溶剤系 (アクリルウレタン系、アクリルシリコン系、フッ素樹脂系) を使用することができます。

* 2) 1 回塗り用仕上塗料 (アロン HS カラー) の標準使用量は $0.2 \sim 0.25 \text{kg/m}^2$ 、それ以外の 2 回塗り用仕上塗料の標準塗布量は 0.3kg/m^2 となります (原液換算)。

注意事項

- ・改修時の下地処理は、下地の状況に応じて異なりますので、別途ご相談下さい。
- ・シーリング材の増打ちまたは打ち替え時には、シーリング材の種類により、アロン水性プライマーまたはアロン強化プライマー (溶剤系) を使用する場合が あります。
- ・断面修復部、モルタル部、コンクリート露出部への施工には、別途、プライマーを使用します。
- ・アロンコート® SX はローラー刷毛を用いて塗布し、吹付けを行わないで下さい。
- ・既存塗料、仕上材 (樹脂系) の上から施工するため、既存パターンの上から新たにパターンが重なります。
- ・各種仕上塗料は各色に調色することができますが、塗料の種類によっては調色できない色もあるため、別途お問合せ下さい。

●本工法の詳細は、弊社営業または施工代理店にお問合せ下さい。

●材料や施工に関する内容は、弊社標準仕様書、テクニカルインフォメーション、技術資料、MSDS などによりご確認ください。



東亜合成株式会社 建材・土木グループ

お問い合わせ 0120-557-947 (フリーダイヤル)
ホームページ URL / <http://www.toagosei.co.jp>

本店営業部 〒105-8419 東京都港区西新橋 1-14-1
大阪支店 〒530-0005 大阪市北区中之島 3-3-3
名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦 1-4-6
四国営業所 〒762-0004 坂出市昭和町 2-4-1
福岡営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神 2-14-2
札幌出張所 〒060-0807 札幌市北区北七条西 4-1-2

TEL: 03 (3597) 7342 (ダイヤルイン)
TEL: 06 (6446) 6568 (ダイヤルイン)
TEL: 052 (209) 8594 (ダイヤルイン)
TEL: 0877 (46) 3300 (代表)
TEL: 092 (721) 1902 (代表)
TEL: 011 (757) 8733

※このカタログに記載の商品は予告なしに使用や取り扱いを変更することがあります。



美しき防水

アロンウオール®
NEO工法

アクリルゴム・外壁化粧防水

2011年6月版

大規模修繕・外壁防水に新しい風



東亜合成株式会社

手軽に外壁防水を！

東亜合成が誇るアクリルゴム製造技術により、日本全国で約 40 年の施工実績を有するアロンウォール® の外壁防水技術を進化させた新しい発想の外壁防水工法の開発に成功しました。

外壁防水の必要性…建物の長寿命化に貢献します



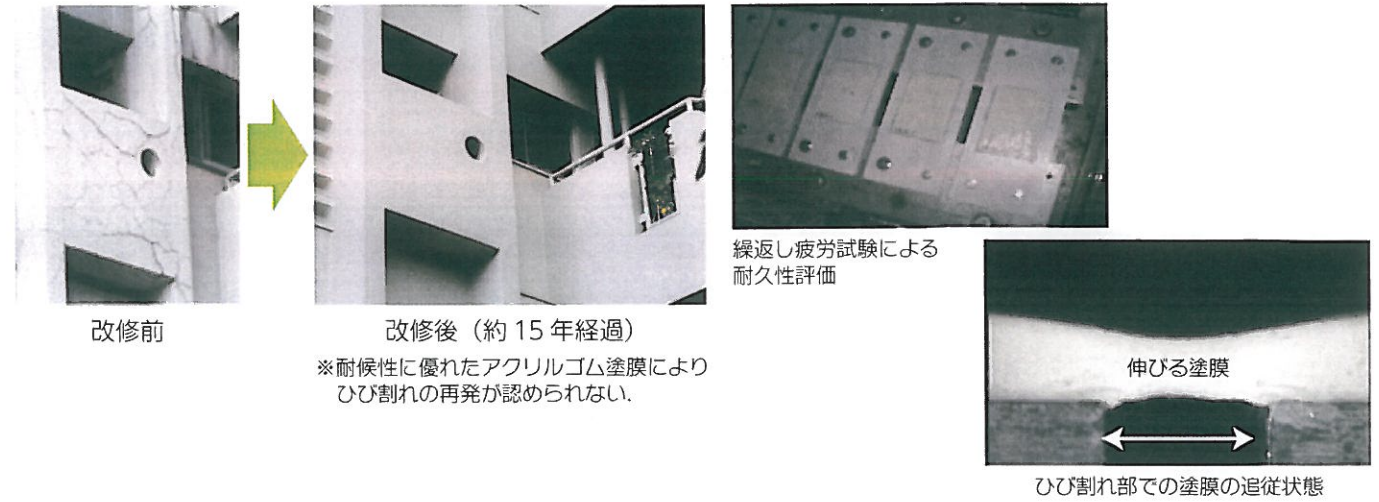
- ・鉄筋コンクリートの劣化には水が関わっています…**中性化**、**塩害**、**アルカリ骨材反応**、**凍害**
- ・外壁防水の役割は雨漏りの防止だけではありません。水をシャットアウトすることにより、建物の劣化を防止し、保護します。
- ・建物の長寿命化に貢献できる外壁防水は、以下の 3 つのポイントが重要です。
 - ①下地（ひび割れ部）の動きに追従（水の浸入を防止）できること
 - ②工法（材料）の耐久性があること
 - ③メンテナンス手法が確立していること

ひび割れても破断しない、ひび割れが動いても破断しない塗装材、これがアロンウォール® NEO 工法です。

アロンウォール® NEO 工法とは

- ① アクリルゴム系外壁化粧防水「アロンウォール®」の DNA（約 40 年の実績を有するアロンコート® ST (JIS A 6021 品) を使用) を受け継いだ改修専用の塗膜防水工法です。
- ② 表層劣化した樹脂系の仕上塗材に直接付着する**超高弾性アクリルゴム系下塗防水材「アロンコート® SX」**の開発により、下塗（プライマー）工程と中塗（防水材）工程を省力化し、効率的な施工を実現しました。
- ③ 15～20 年先の防水性能を考慮した**信頼性設計**※)により、**建物の長寿命化**をお約束します。
※) 信頼性設計とは、初期性能ではなく劣化後の性能を考慮した製品設計のことです。
- ④ 使用材料の殆どを水性材料とすることができ、**環境にやさしい工法**です
- ⑤ 既存仕上材塗膜を剥がすことなく、上から**塗り重ね**ができるので、**産業廃棄物の低減**に役立ちます。
- ⑥ 独自のリフレッシュ工法により、計画的かつ**経済的なメンテナンス**ができ、**ライフサイクルコストが低減**できます。
- ⑦ 全国アロンコート・アロンウォール防水工事業協同組合員による**確かな施工**で、**資産価値の向上**に努めます（責任施工）。

アロンウォール® による改修例

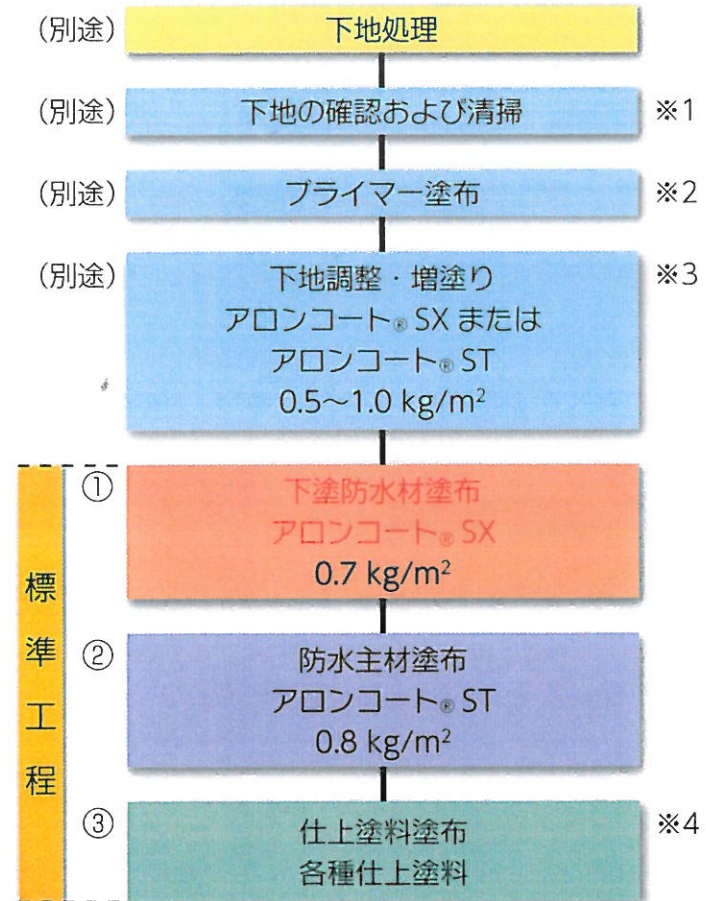


適用範囲

コンクリート、モルタル、ALC パネル、PC 部材および押出し成形板に施工され、経年により表層劣化（チョーキング）した樹脂系の既存塗膜（仕上材、仕上塗材など）への適用を標準とします。

- ※新築、打放しコンクリート、タイル素地、模様の凹凸が大きい場合には適用できません。
- ※仕上塗料（樹脂）の種類、低汚染化の有無、白亜化や光沢の有無によっては、アロンコート® SX の付着の有無を確認し、付着しない場合にはアロン水性プライマーを使用してください。

工法と仕様



- ※1) 施工箇所の全面を高圧水洗にて、汚れ、白亜化物などの除去を行ってください。
- ※2) 既存塗膜以外のひび割れ部、既存塗膜撤去部、コンクリート、モルタル、硬質塩ビ、サッシ周り、金属、シーリング材などの異種下地には、適切なプライマーを塗布してください。
- ※3) ピンホール、凹凸、膨れなどの発生するおそれのある部位、出隅入隅などの膜厚が薄くなり易い部位、ALC パネルや PC 部材の継目地部（シーリング材打設部）などの防水上重要な部位、ひび割れが発生し易い部位、下地の動きが激しい部位などにはアロンコート® SX を、開口部（サッシ）周り、貫通部周り、手摺基部、スイッチボックスなどの設備との取り付けなどにはアロンコート® SX またはアロンコート® ST をこて、刷毛、ローラー刷毛あるいはゴムべらを用いて 0.5~1.0kg/m² 程度すり込み塗りまたは増塗りしてください。なお、既存塗膜がない箇所はあらかじめ**プライマーを塗布**、乾燥させてください。
- ※4) 各種仕上塗料の標準使用量は、使用材料一覧、テクニカルインフォメーションならびにアロンウォール® NEO 工法標準仕様書を参照してください。